

「2014年3月期決算説明会」主なQ&A

【経営リスクについて】

Q：2014年3月期の経常利益は1,000億円を超える水準となりましたが、今後の経営リスクをどのように考え、どのように対応するのでしょうか。

A：福島第一原子力発電所における汚染水問題が当面の最も大きな課題と認識しております。そのため、当社は4月1日に「福島第一廃炉推進カンパニー」を設置し、国や原子力メーカー等と協力しながら、廃炉・汚染水対策にしっかり取り組んでまいります。

【火力入札の規模について】

Q：どのような前提で2回目の火力入札募集の規模が600万kWとなったのでしょうか。

A：前回の入札で未達となった約200万kWに加え、老朽化火力約1,000万kWのリプレースを一度に行うことは困難であるため、3分の1程度ずつに分けた400万kWを合わせた結果、今回は600万kWの募集となりました。

【石炭火力発電の収支への寄与について】

Q：石炭火力の高稼働が収支の押上げに寄与したと思われませんが、石炭火力の稼働率はどうでしたか。また今後の見通しはどうでしょうか。

A：2013年度の石炭火力の稼働率は91%程度でした。2014年度についても、発電単価の安い石炭火力を最大限活用する方針に変わりはありません。

以 上